



5月の園だより

令和 7 年 5 月 1 日

目黒区立中央町保育園園長

さわやかな風と新緑の木々が清々しい季節になりました。新年度が始まり1か月が経ち、子どもたちは新しい環境にも慣れてきて、保育士や友達と関わりながら好きな遊びを楽しむ姿が見られています。

ホールでのリズム遊びを終えた1歳児クラスの子どもたちが事務室前を通りかかると、メダカの水槽の前で立ち止まりました。水槽を囲みメダカを見つけると「いたね～」と保育士の方を見ながら目を輝かせています。「メダカ泳いでいるね。ザリガニも見る？」と事務室で飼っているザリガニの水槽を子どもたちに見せると、子どもたちは水槽を覗き込んでいます。初めはザリガニが動かずじっとしていたので子どもたちはキョトンとした表情でしたが、ザリガニが動き出した途端に「カニ～」と言いながらザリガニを目で追っていました。言葉が増え、ザリガニがカニと似ている様子を見て「カニ」と言うなど言葉と物とが一致することも多くなり、思いを表現することや相手に伝えることの嬉しさを感じているようです。

毎月近隣の小規模保育園の1、2歳児が身体計測のため来園しています。先日は計測に来た後、園庭で在園児と一緒に遊び始めました。ちょうど園庭で遊んでいた5歳児が、年下の子どもたちのそばへ行き砂場で作ったケーキをあげたり、築山に登ろうとしている子どもを支えてあげたりしていました。保育士に頼まれたわけではなく、自分から気付いてお世話をする様子がとても微笑ましかったです。日頃からの親子での関わりや保育園生活の中での友達や保育士との関わりを通し、子ども自身が大切にされたり優しくされたりした経験が、友達や年下の子どもとの関わりの中に生きているのだと感じます。子どもたちが「自分は愛されている、大切にされている」ことを実感し自己肯定感を育ていけるよう、一人ひとりを大切に保育を進めてまいります。

《クラス懇談会の予定》

0歳児クラス

3歳児クラス

1歳児クラス

2歳児クラス

6月 4歳児クラス

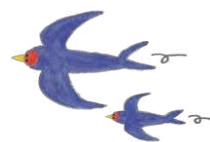
5歳児クラス

《5月の予定》

春の健康診断（全園児）

煙体験（5歳児）

中旬 身体計測・避難訓練



どんぐり組
(2歳児クラス)

こいのぼりを作りました

もみじ組
(3歳児クラス)



いちよう組
(4歳児クラス)



ぽぶら組
(5歳児クラス)



入園・進級後の子どもたちの姿をお伝えします



園庭に行くと、始めは緊張した様子で保育士の服をぎゅっと掴む子がほとんどでした。低月齢の子は保育士が「お花だね」「綺麗ね」と葉や菜の花を見せると、じっと見た後に花を掴もうと手を伸ばしています。そのまま引っ張って花を採り、近くでじっくり見る子もいます。高月齢の子は砂やカップにも興味が出て、保育士が触ると同じようにそっと触ってみる姿も見られました。他クラスの子が作った型抜きに砂に興味を持って積極的にそばに行く子に「すごいね」と声をかけると拍手をする子もいました。

初めての園庭に緊張もありましたが、食事・睡眠・遊びなどを一緒に関わってきた保育士を「この人と一緒にいれば大丈夫」と子どもたちが感じてくれるようになってきているようです。これからの園生活ではさらに保育士が信頼関係を築き、たくさんの初めての経験する子どもたちを援助して楽しめるようにしていきたいです。

つくし組（0歳児クラス）



たけのこ組（1歳児クラス）



入室の時にはお家の方とタッチをして部屋に入ることができ子どもたちは、少しずつ新しい生活に慣れてきたように感じます。

体を動かすことも好きで、毎日園庭に行くのを楽しみにしています。ある子が、タイヤを積んだ高い山に足を上げてよじ登ることにチャレンジしていました。その様子に気付いた保育士が「もう少しだよ」と隣で登って見せると、子どもが自分で考えながら姿勢を変え、もう一度手足に力を入れて登りました。山の上まで登ることができると笑顔になり「できた」と保育士の顔を見あげて喜びを伝えてくれていました。保育士が「登れたね。できたね。」と声を掛け、両手を上げて一緒に喜んでいるのを見ていた子も山を登ってきました。「一緒だね。できたね。嬉しいね。」とみんなで拍手をして喜びが増すひとときになりました。



新しい環境や保育士にも慣れて緊張や不安が少し落ち着き、お気に入りの場所で好きな遊びを楽しんでいます。

室内では、ついでに自分のスペースに好きな玩具を持ってきて遊ぶことが安心できる落ち着いた時間となっています。乗り物のイメージが広がり、小さいフープを握ってハンドルにして「ぶーん ぶーん」とドライブを楽しみ始めました。運転している子を見て「ぼくもやりたい」と保育士に伝えに来た時には「隣が空いているから一緒に座ってみる？」と保育士が隣にもう1つハンドルを付けると、2人で並んでとても嬉しそうに大きな声で「ぶーんぶーん」とドライブごっこを楽しんでいました。

子どもたちがイメージを広げて遊べるように玩具を準備したり、思う存分遊べる空間を確保したりしながら、子どもたちと一緒に楽しさを共感して過ごしていきたいと思います。

どんぐり組（2歳児クラス）





もみじ組（3歳児クラス）



園庭が目前にある部屋になり、すぐに外へ出られる嬉しさから、身支度もあっという間に済ませています。

一人の子が「追いかけてこしよう」と友達に誘い掛け、「この指とまれ」と言うと、他の子が近付いて集まってきました。保育士も仲間入りし、近くにいた子も「やりたいな…」と見つめていたので「〇くんもやる？」と声を掛けました。「あとで」と言っていたのですが、遊び始めた子の姿を見ると「入れて」とすぐ仲間入りしていました。これまでよりも友達と一緒に遊ぶことが楽しくなり、関わりたい気持ちが強くなってきています。時には思いがぶつかり合う姿もありますが、保育士も仲立ちしながら相手の思いをお互いが知ること、再び「一緒に遊ぼう」と遊びに戻っています。今後も遊びを通して友達と過ごす楽しさを感じられるように関わっていきます。



環境が大きく変化した事で「大きくなった自分」を実感している子どもたちです。「もみじ組さん」と聞こえると「は〜い」と返事をしていた4月。今では保育士が呼び間違えると「もう、いちよう組だから」と直ぐに答えています。

「使ったペーパータオルは、たこ焼きにして（丸めて小さくして）捨てるんだよね」「廊下は走らないんだよね」など、自分たちで出来る目標を掲げ向かっている意欲的な姿は本当に頼もしいです。

また、ぽぷら組の当番活動や大勢で取り組む制作など目の当たりにし、憧れを抱いているようです。自分たちで主体的に生活を送ろうとし始めたいちよう組、少しずつ憧れの姿に近づいていくのでしょう。

いちよう組（4歳児クラス）



ぽぷら組（5歳児クラス）



ぽぷら組になった初日に「先生、スタンプやらないの」と子どもたちから話がありました。いちよう組の時に憧れのぽぷら組が毎日登園スタンプをしている様子を良く見ていたのだと感じた場面です。人数報告当番も「2人じゃなくて1人で行きたい」と言うので頼みました。「任せて」と胸を張ってぽぷら組を出ていき、各クラスに「おはようございます。人数報告当番です」と保育園の代表としてお手伝いを行う事に喜びを感じています。園庭に出ると氷鬼やどろけいが始まります。今まで参加していなかった子も「入れて」と入る姿が出てきました。「一緒にやろうよ」と誘い合ったり、友達を快く受け入れたりとクラスの仲間と遊ぶ事が楽しいと笑顔が溢れています。

活動や遊びの中で友達と沢山関わり、友達の良い所を伝え合える仲間づくりをしていきたいと思っています。

